

# 株主のみなさまへ

花王株式会社 中間事業報告書

2003.4.1~2003.9.30



# 焦点を絞り込んだ“攻めの姿勢”で、さらなる成長を

## 中間決算の概況

当中間期の連結売上高は4,469億円(前年同期比102.8%)となりました。円高による海外売上高の換算為替差(15億円の減少)の影響を除くと、前年同期比103.1%となります。

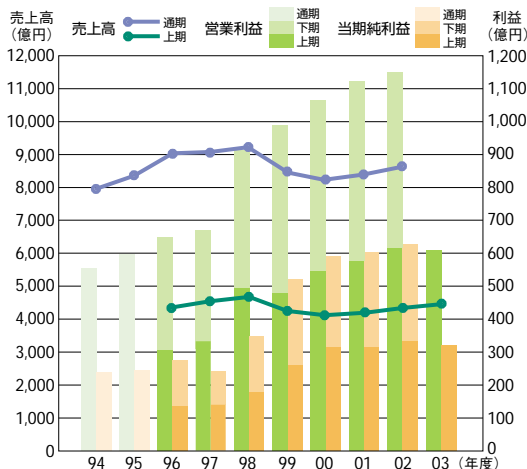
国内事業の売り上げは、前年同期比100.7%となりました。家庭用製品では高付加価値型新製品の発売及び積極的なマーケティング活動により売り上げの拡大を図りましたが、市場での競争激化による販売価格の低下や冷夏による需要の低迷の影響を受けました。工

業用製品では、輸出や新規開発製品は好調に推移しましたが、景気低迷の影響を受け、工業用製品全体としては低調な伸びとなりました。

海外事業の売り上げは、買収効果により前年同期比109.3%と伸長しました。昨年買収した欧米家庭用製品及び生産設備を増強した工業用製品は順調でしたが、景気低迷の影響を受けた欧米家庭用製品の既存事業や、厳しい市場競争にさらされたアジアの家庭用製品は伸び悩みました。

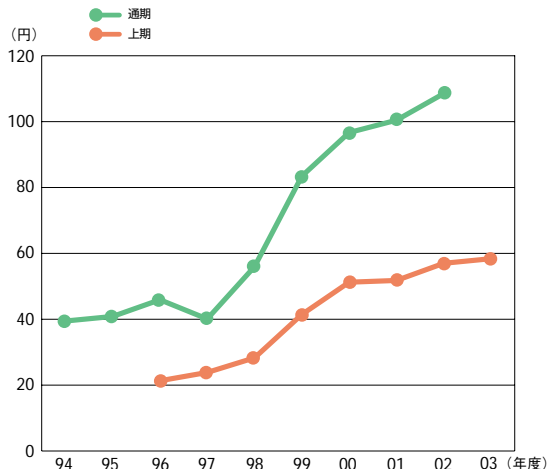
連結営業利益は605億円(前年同期比98.4%)

## ◆ 連結売上高・利益の推移



(注) 上期の連結売上高・利益は96年度分より算定しております。

## ◆ 連結1株当たり純利益の推移



(注) 上期の連結1株当たり純利益は96年度分より算定しております。



平成15年11月

花王株式会社

代表取締役  
社長執行役員

後藤 卓也

となりました。国内事業は新製品発売のための積極的なマーケティング活動を実施するとともに、コストダウンや費用の効率化を推進した結果、化粧品事業において大幅に増加し、国内事業全体では前年同期に対して13億円増加の543億円となりました。一方、海外事業は、アジアにおいて工業用製品の原料価格の上昇や家庭用製品の利益減少などがあり、前年同期に対して19億円減少し、63億円となりました。

連結経常利益は619億円（前年同期比98.9%）、連結中間純利益は319億円（前年同期比

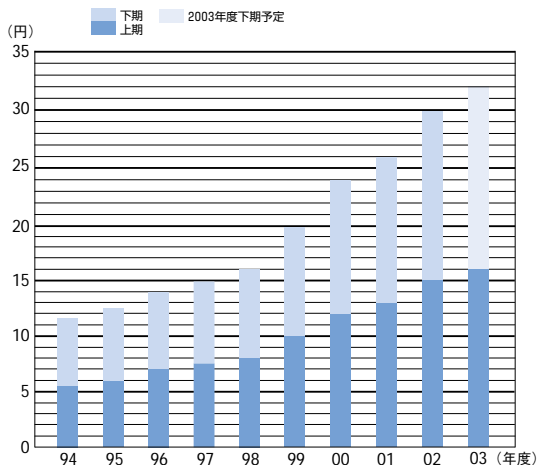
96.0%）となりました。営業外損益では、前年同期と比較して持分法利益が減少しましたが、為替差損益が差損から差益に転じました。また、特別損益では、土地の評価損を計上しましたが、これらを吸収して当初予想利益を上回ることができました。

当期の中間配当金は、当初の予定通り、前年同期より1円増配の1株当たり16円とさせていただきます。

## 今後の経営施策

昨今の国内経済は、企業の設備投資の緩やかな回復傾向など、若干明るい兆しも見えてきておりますが、個人消費の動向は引き続き低迷状態にあり、また市場も依然として厳しいデ

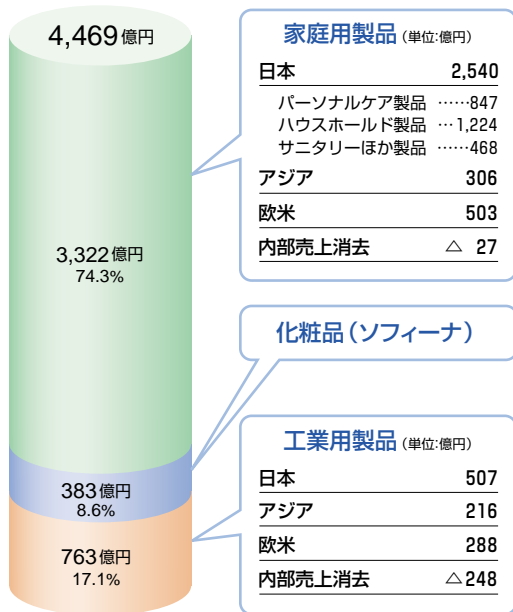
## ◆ 1株当たり配当金の推移



フレ局面にあると言わざるを得ません。

こうした困難な経営環境・事業環境のもとではありますが、当社は、今後ともメーカーの原点である消費者視点に立った、“よきモノづくり”に徹するとともに、焦点を絞り込んだ“攻めの姿勢”を貫いて、“利益ある成長”を達成すべく、以下の諸施策を力強く実行してまいります。

#### ◆ 中間連結売上高構成比



(注) 1. 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。  
2. グラフの売上高は、外部顧客に対する売上高を表示しております。

#### (1) 基幹ブランドのシェアの拡大・既存事業の強化

引き続き厳しい市場競争の影響下にある家庭用製品市場において、当社の収益の柱である基幹ブランドの市場シェアを維持・拡大すべく、全力を傾けてまいります。

そのために、当社は、製品改良はもとより、重点的・戦略的なマーケティング活動、さらには流通チャンネルごとの積極的な販売活動などに当社の持てる力を集中的に投入してまいります。

また、既存事業の強化・発展の施策としては、他社とのアライアンス、事業統合なども積極的に検討してまいります。今年10月には、当社の化粧品事業とカネボウ株式会社の化粧品事業の統合に向け、両社間で基本合意に至り、年内の確定契約調印に向けて、協議・検討中であります。

#### (2) 新規事業分野の開拓・確立

新規事業分野では、ヘルスケア事業が大きく成長してまいりました。発売後4年を経て、健康機能油市場を確立した「エコナ」関連製品はもとより、今年5月に“体脂肪が気になる方”



に向けて関東甲信越の1

▲“体脂肪が気になる方”に好評の「ヘルシア 緑茶」

都9県で発売いたしましたお茶飲料「ヘルシア緑茶」も、発売早々、予想を上回る消費者の支持を受けて、売り上げの増加に大きく貢献しております。

当社では、今後、このヘルスケア事業をパーソナルケア、ハウスホールド、サニタリーの各事業と並ぶ家庭用製品事業の4本柱の一つと位置付け、さらなる製品ラインの拡充を図ってまいります。

### (3) 海外事業の強化・発展

海外事業におきましては、かねてより活発なスキンケア事業を行っているアンドリュウ・ジャージェンズ社を通じて、昨年9月に買収したプレミアムヘアケア製品メーカーのジョン・フリーダ社の事業は、極めて順調に推移しております。これに、ドイツのゲール・イケバナ社とのシナジー効果を発揮させるため、組織を含めた一体的運営を



▲ジョン・フリーダ社のプレミアムヘアケア製品

図ることによって、欧米全体でのパーソナルケア事業の基盤強化を図ってまいります。

アジアの家庭用製品については、厳しい市場競争が続いておりますが、今後とも、当社の基幹ブランドに経営資源を集中した事業展開を図ってまいります。また、タイ国内及びアセアン地域の生産体制の最適化を図るため、バンコク市郊外に新工場を建設することを決定いたしました。さらに、中国においても、今年春、花王(上海) 産品服务有限公司を設立し、販売機能の強化を図っております。

工業用製品におきましては、引き続き当社のコア分野である油脂、界面活性剤及びスペシャルティケミカルズを中心に事業の拡大と収益性の向上をめざします。

当社は、以上のような諸施策の実行によって、より“強い会社”となることをめざすとともに、広く社会の中で存在意義のある“よい会社”であり続けるべく、企業行動倫理の遵守や、自然・環境への配慮、また商品の安全性の徹底などの面でも一層精進してまいります。

株主各位におかれましては、こうした当社の姿勢にご理解をいただき、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 財務報告の要約

(記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。)

## ◆中間連結貸借対照表

(単位:億円)

資産の部	当中間期	前期	負債、少数株主持分 及び資本の部	当中間期	前期
	平成15年9月30日現在	平成15年3月31日現在		平成15年9月30日現在	平成15年3月31日現在
流動資産	2,743	2,760	流動負債	2,048	2,018
現金及び預金	585	362	支払手形及び買掛金	657	605
受取手形及び売掛金	987	949	未払金	190	180
有価証券	170	462	未払費用	597	610
たな卸資産	729	709	未払法人税等	223	288
その他	270	276	その他	380	333
			固定負債	721	793
固定資産	4,340	4,447	社債及び長期借入金	355	356
有形固定資産	2,713	2,754	その他	365	437
建物及び構築物	934	935	負債合計	2,770	2,812
機械装置及び運搬具	900	915	少数株主持分	227	225
土地	657	693	資本金	854	854
その他	221	210	資本剰余金	1,088	1,088
無形固定資産	1,030	1,041	利益剰余金	3,791	3,558
商標権	551	583	その他有価証券評価差額金	30	17
その他	478	457	為替換算調整勘定	△ 267	△ 304
投資その他の資産	596	651	自己株式	△ 1,410	△ 1,043
繰延資産	1	1	資本合計	4,087	4,170
資産合計	7,085	7,208	負債、少数株主持分及び資本合計	7,085	7,208

(注)有形固定資産の減価償却累計額 当中間期 7,625億円 前期 7,552億円

### ポイント

総資産は前期末に比べ122億円減少しました。流動資産は、当中間期も自己株式の市場買付を行ったことや法人税等の支払いなどにより、有価証券を含めた手元資金が減少しました。固定資産は、新たに取得した額と減価償却額がほぼ均衡しましたが、土地の評価損の計上などにより減少しました。

### ポイント

負債は、仕入債務などが増加しましたが、未払法人税等や、厚生年金基金への抛出の増額により退職給付引当金などが減少しました。資本は、当中間期も自己株式の市場買付を行ったことなどにより減少しましたが、株主資本比率は57.7%と高水準を維持しております。

## ◆中間連結損益計算書

(単位:億円)

科 目	当中間期	前年中間期
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで
売 上 高	4,469	4,349
売 上 原 価	1,873	1,823
販売費及び一般管理費	1,990	1,909
営 業 利 益	605	615
営 業 外 損 益	14	10
経 常 利 益	619	626
特 別 損 益	△ 24	△ 20
税金等調整前中間純利益	595	605
法人税、住民税及び事業税等	265	259
少数株主利益(減算)	10	13
中 間 純 利 益	319	332

(注)1株当たりの中間純利益 当中間期 57円87銭  
前年中間期 56円99銭

- 連結子会社は79社、持分法を適用した子会社・関連会社は11社です。
- 前年中間期に対する伸長率  
 売上高 2.8%(海外売上高の換算為替差を除くと3.1%)  
 営業利益 △1.6%  
 経常利益 △1.1%  
 中間純利益 △4.0%
- 海外売上高の連結売上高に占める割合は、27.4%で、前年中間期に対して1.4ポイント増加しました。

### ポイント

売上高は買収効果もあり120億円増加しました。営業利益は、国内事業では増加しましたが、海外事業では、アジアにおいて工業用製品の原料価格の上昇や家庭用製品の利益減少などがあり、全体では9億円の減少となりました。経常利益、中間純利益とも前年中間期に比べ減少しましたが、当初の予想利益を上回ることができました。

## ◆中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科 目	当中間期	前年中間期
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	520	667
税金等調整前中間純利益	595	605
減 価 償 却 費	273	277
持分法による投資損益(利益:△)	△ 0	△ 6
売上債権の増減額(増加:△)	△ 16	91
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 0	△ 2
仕入債務の増減額(減少:△)	38	△ 54
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 36	74
法人税等の支払額	△ 291	△ 277
そ の 他	△ 41	△ 40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 135	△ 748
有形固定資産の取得による支出	△ 199	△ 243
無形固定資産の取得による支出	△ 55	△ 428
新規連結子会社の株式取得に伴う支出	—	△ 139
その他資産増減額(増加:△)	119	64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 419	△ 467
社債・借入金を増減額(減少:△)	39	△ 30
自己株式の取得による支出	△ 369	△ 352
配 当 金 の 支 払 額	△ 95	△ 84
そ の 他	7	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△ 18
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 28	△ 565
現金及び現金同等物の期首残高	756	1,249
新規連結子会社の現金及び現金同等物期首残高	26	9
現金及び現金同等物の中間期末残高	754	693

### ポイント

営業活動による収入と、有形固定資産の取得を主とした投資活動による支出との差額では384億円の余剰となりましたが、財務活動において当中間期も引き続き自己株式の市場買付を行ったことなどにより、現金及び現金同等物の中間期末残高は前期末よりわずかに減少しました。

# 新製品のご紹介

## アジエンス® シャンプー・コンディショナー・トリートメント

内面からの美しさを引き出すために



日本人の髪が本来持っている美しさを引き出すための新しいヘアケアシリーズとして誕生したのが、「アジエンス」です。欧米人に比べ、ハリがあってしなやかであるはずの日本人の髪も、カラーリングなどのさまざまな要因により、もろくなりがちで、髪の傷みを気にする人が増えています。「アジエンス」は、こうした現代の日本人女性の髪に合わせて、天然素材を抽出した東洋美容エッセンス\*を処方しました。このエッセンスが、花王独自の“洗いながら浸透さ



せる技術”により、髪の内部繊維にまで働きかけ、結んでも跡がつかないくらい、芯からしなやかな髪に仕上げます。凛とした美しさを予感させる花果実の香りです。

◀テレビCMには、ハリウッドで活躍中の女優、チャン・ツイーさんを起用。



※東洋美容エッセンス

- 大豆・真珠プロテイン（補修成分）
- 米・朝鮮人参エキス（保湿成分）
- 桜葉（ユウカリ）エキス（保護成分）

傷んだ髪の失われたタンパク質を補い、髪の内側にうるおいを閉じ込め、さらに、表面を整えてつやを与えます。

### ●ホームページのご案内

下記の当社ホームページでは、決算や新製品のお知らせなど、さまざまな情報を提供しております。ぜひご覧下さい。

<http://www.kao.co.jp>

### ●株式に関するお問い合わせ先（名義書換代理人）

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行事務センター  
TEL (03) 3323-7111 (代)

### ●お手続き用紙のご請求について

住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取・買増請求及び配当金振込指定等に必要の各用紙のご請求は、名義書換代理人の下記のフリーダイヤル及びホームページにて24時間受け付けております。

☎0120-87-2031（自動応答）

[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

（注）証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引のある証券会社にお申し出下さい。

清潔で美しくすこやかな毎日をめざして

## 花王株式会社

この印刷物は、再生紙を使用しております。